

令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 29
ID 150502

【施設状況】

グループ名称	松代文化ホール,東部文化ホール										
指定管理者名	株式会社サンワックス							法人番号	4030001086866		
所管課	主	150500	文化芸術課		副						
構成施設	12114	松代文化ホール									
		東部文化ホール									
施設分類	03	施設貸出2型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	・松代文化ホール…ホール1 練習室1 展示ホール1 ・東部文化ホール…ホール1 練習室4										
施設設置目的	市民の文化振興等を図る施設として、市民に対し、より開かれた身近な施設となること。										
基本方針等	市民活動を支援・助長する公共施設として、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者が世代を超えて交流のできる、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	・ホール、練習室及び展示ホールの貸館及び利用促進のための広報活動 ・施設、備品等の適正管理、各種設備の保守点検、法定点検環境保全業務等 ・施設の目的に沿った自主事業の実施										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

1. 指定管理者の健全性											
指定管理者名		株式会社サンワックス					当該指定管理者の 指定回数		2回		
指定期間		令和6年4月1日			～	令和11年3月31日		5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和2年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。										評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)										3

2 施設の有効活用

No. 29

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	評価
	松代文化ホール	人	11,166	14,700	16,609	16,617	100%	
	東部文化ホール	人	16,769	23,419	31,658	31,128	98%	
	(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			4
	市指定事業	・施設利用の承認等に関する業務 ・施設、附属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・関係法令等に定められた点検、検査 ・利用料金の収受等に関する業務 ・樹木等の管理 ・その他市が必要と認める業務						
	自主事業	・松代文化ホール ワンコインコンサート、クリスマスジャズコンサート、松代演芸ホール、チェロのある昼下がり、チェロ教室、2台のピアノを楽しもう、ヴァイオリン体験会、理科教室、ダンボール迷路で遊ぼう！、手形アートワーク、クラフト教室 など ・東部文化ホール ワンコインコンサート、グランドピアノを楽しもう、チェロのある昼下がり、チェロ教室、楽器体験会、理科講座、ダンボール迷路で遊ぼう！、手形アートワーク、クラフト教室 など			【追加】 デジタルサイネージを利用した施設や自主事業の紹介(松代文化ホール) 【未実施】 ・松代文化ホール児童合唱団は、関係者との調整に時間を要しているため、未実施(松代文化ホール) ・クラフトマルシェは、敷地内での飲食物の販売が困難なことが判明したため、中止。(東部文化ホール)			
サービス維持・向上の取組み (広報等)		子育て世代やシニア世代など幅広い世代を対象とした自主事業を実施し、利用者層の拡大につなげている。また、公共施設や地元商店会へのチラシ掲出や様々な情報誌への記事掲載など広報強化に努めている。さらに、長野市子どもの体験・学び応援モデル事業「みらいハッ！ケン」プロジェクトに登録し、両施設で計233人の利用があり、小中学生の参加促進につながっている。						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		4
	(2) 調査、会議等の内容			
	【松代文化ホール】 ①貸館利用者へのアンケート調査(常時実施) 回答総数 40件 ②自主事業参加者へのアンケート調査 回答総数 1,039件 【東部文化ホール】 ①貸館利用者へのアンケート調査(常時実施) 回答総数 138件 ②自主事業参加者へのアンケート調査 回答総数 202件			
(3) 調査、会議等の結果				
【松代文化ホール】 ①貸館サービスに対する満足度:大変満足 67% 満足 30% やや満足 3% ②イベント満足度:大変満足 72% 満足 25% 普通 3% 改善の余地あり 0% 【東部文化ホール】 ①貸館サービスに対する満足度:大変満足 63% 満足 34% やや満足 1.5% 普通1.5% ②イベント満足度:大変満足 70% 満足 26% 普通 4% 改善の余地あり 0%				
利用者評価	(1) 良好とする評価			
	【松代文化ホール】 ・細かなところまで、お気遣いいただきとても助かりました。丁寧にご対応いただき大変安心でした。(貸館) ・子供連れでも歓迎のコンサートはあまりないので、気軽に連れてくることができうれしかったです！内容もすばらしかったです。(ワニコインコンサート) 【東部文化ホール】 ・毎年利用させていただきありがとうございます。例年利用させて頂くにあたり、本来であれば我々が用意するべき機材も準備して頂き例年利用させて頂くにあたり、本来であれば我々が用意するべき機材も準備して頂き本当にありがとうございました。(貸館) ・自宅にはアップライトのピアノがありますが、グランドピアノを弾くのが夢でした。回覧板で拝見してとても嬉しくて、今日のために練習する時間が増えてとても楽しみにしていました。(グランドピアノを楽しもう)			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 特になし			
		《対応措置》		

4 事業収支

No. 29

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算		令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	12,154,000	利用料金	12,940,185	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	2,036,209	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	5,108,770 2,036,209
指定管理料		33,488,000	指定管理料	33,488,000	貸付料			貸付料		
委託料			委託料		その他			その他	1,113,790	
販売収入等			販売収入等				4,986,871		2,025,940	
その他収入		1,000	その他収入	21,628			53,000		222,000	
計		45,643,000	計	46,449,813	計		7,076,080	計	10,506,709	
支出	人件費	20,028,000	人件費	19,220,349	歳出	指定管理料	33,488,000	指定管理料	23,979,000	
	設備管理費	7,419,000	設備管理費	7,014,900		委託料	1,949,750	委託料	5,191,856	
	備品購入費	200,000	備品購入費	0		需用費	6,697,949	需用費	4,732,020	
	修繕費	1,100,000	修繕費	1,106,589		役務費	53,900	役務費	2,850	
	光熱水費	6,200,000	光熱水費	6,636,673		使用料・賃借料	53,215	使用料・賃借料	149,343	
	事業費	850,000	事業費	1,144,769		修繕費		修繕費	1,166,000	
	事務経費	1,500,000	事務経費	2,002,358		工事請負費	6,414,100	工事請負費	4,776,200	
	本社経費	2,500,000	本社経費	2,500,000		備品購入費		備品購入費		
	その他	1,846,000	その他	1,958,554		その他		その他		
		4,000,000		4,688,199			57,183		6,764,620	
計	45,643,000	計	46,272,391	計	48,714,097	計	46,789,889			
自主事業	収入	2,918,000	収入	3,047,640						
	支出	1,728,000	支出	1,854,620						
	自主事業損益	1,190,000	自主事業損益	1,193,020						
損益	1,190,000		1,370,442		差引	-41,638,017		-36,283,180		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									41.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			常勤職員2名(1名) 非常勤職員9名(9名) ・松代文化ホール 館長1名 受付スタッフ1名 清掃スタッフ1名 舞台スタッフ1名 ・東部文化ホール 館長1名 受付スタッフ4名 舞台スタッフ2名 ※清掃は委託
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

No. 29

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	4
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☑	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	・市内からの職員雇用 ・舞台業務その他の市内事業者への積極的発注 ・市内各業施設との広報媒体の相互掲出 ・近隣地域の小学校へチェロ演奏などのアウトリーチ事業(自主事業) ・松代商店会連合会との連携(自主事業)	【追加】 ・受付スタッフの地元採用 ・長野市子どもの体験・学び応援モデル事業「みらいハッ！ケン」プロジェクト参画(自主事業)	

【総合評価】

総合評価			
評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	8	74
事業収支	4	8	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	4	16	
地域連携	4	8	

--- 基準値

評価理由	・新たに東部文化ホールが追加された中、利用者数は前年度と同程度であったが、提案にない自主事業や当初よりも多くの自主事業を積極的に展開したことから、施設の有効活用を「4」とした。 ・アンケート調査では、自主事業参加者のみならず、貸館利用者からも高い評価を得ており否定的な意見はなかったことから利用者評価を「4」とした。 ・光熱水費の高騰など、物価上昇が進む中、施設の適正管理により経費の縮減を図り、健全な施設運営を行ったことから事業収支を「4」とした。 ・施設の巡視や安全点検を適切に行い、豪雨や地震発生時などは休日・夜間を問わず被害の確認、迅速な報告を行うなど、日ごろから高い安全意識により安全管理と緊急時の体制を構築していることから危機管理体制を「4」とした。 ・商店会連合会との連携や市有施設へのアウトリーチ事業を行ったほか、市の子どもの体験・学び応援モデル事業への参画、市内の様々な施設とチラシの相互掲出、さらに保守点検や修繕で積極的に市内事業者を活用していることから地域連携を「4」とした。		
取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題 ・市と管理者の連携を密にし、計画的且つ効率的な施設修繕に努める。	改善状況 ・東部文化ホールの多目的ホール既存ワックス剥離清掃や松代文化ホール舞台機構マニラロープ交換修繕など、利用者の満足度向上や機能維持に資する設備改修を行った。	改善案等(改善されていない場合) ・引き続き計画的且つ効率的な施設修繕に努める。
次年度の目標・ 取り組み等 (施設所管課)	・市と管理者の連携をより密にし、計画的且つ効率的な施設修繕に努める。 ・東部文化ホールを含む柳原総合市民センター駐車場の雨水調整池整備工事において、管理者や関係課と情報共有しながら、利用者の安全確保を図るとともに駐車場の混雑緩和に努める。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【広報の強化】

- ・「広報ながの」、子ども情報誌「ホリデーながの」に自主事業の情報を掲載し、告知に努めた。
- ・信濃毎日新聞、週間長野、長野市民新聞、週刊うえだ、須坂市民新聞、子育て情報誌「モナミ」、カルチャーナガノに報道用資料等を送付し、広範囲への告知に努めた。
- ・報道用資料とチラシを記者クラブに持参し、事業告知の依頼を行い、取材、事業紹介が、多数のメディアに掲載された。
- ・掲載実績：松代文化ホール 事業告知151件、取材と事業紹介11件(内、テレビ放映2件)。東部文化ホール 事業告知46件、取材と紹介記事7件
- ・施設ホームページを利用者の催事や施設からのお知らせ、自主事業の告知に活用した。施設予約状況はリアルタイムで発信した。
- ・SNS(XとInstagram)を活用し、自主事業の告知や施設周辺の様子を随時発信した。(X投稿数：松代文化ホール 年間238件。東部文化ホール 年間137件)
- ・自主事業ごとに告知チラシを作り松代地域、小島地区の施設を中心に市内施設に配架を依頼し、幅広い広報に努めた。
- ・施設パンフレットを作成し、見学者や利用者への案内、広報に活用した。
- ・デジタルサイネージを利用し、情報の視認性を向上させ、施設案内や事業告知に努めた。
- ・松代商店連合会の広報物「ソウさんスタンプ会だより」へのワンコインコンサートの事業告知、スタンプ台紙でワンコインコンサートへ入場できるサービスの提供等で長野市商工会議所松代支所と連携をした。(松代文化ホール)

【快適な環境の整備】

- ・手指消毒液の設置を継続し、スタッフおよび利用者の安全管理に努めた。
- ・日常清掃にアルカリイオン水を活用し、安全で除菌効果もある環境へ配慮した清掃を実施した。
- ・毎日の清掃により、館内施設の清潔さを維持するよう努めた。
- ・ホール客席に車いす席のスペースを常設し、どなたでも利用しやすい環境を整えた。
- ・筆談ボード、拡大鏡、老眼鏡、車いすを常設し、合理的配慮の提供に努めた。

【自主事業の実施】

(松代文化ホール)

- ・ワンコインコンサート(5回)、クリスマスジャズコンサート(1回)、松代演芸ホール(1回)、2台ピアノを弾いてみませんか(試弾会)(3回)、チェロのミニコンサート(1回)、チェロとヴァイオリンの体験会(1回)、チェロ教室(毎月)、理科教室(7事業)、工作教室(9事業)、手形アートワークショップ(4回)、ダンボール迷路で遊ぼう(3回)、ヨガ教室(12回)など幅広い世代が参加できる自主事業を多数実施した。

- ・「みらいハッ！ケン」プロジェクトに参画し、22事業を登録。144人が電子クーポンを利用し、事業に参加した。
- ・録音サービス、プロジェクター貸出サービス、リハーサルサービス、ミニリサイクル会場として練習室利用、ピアノの時間貸しなどを実施し、ホールや練習室の利用促進に努めた。

(東部文化ホール)

- ・ワンコインコンサート(1回)、グランドピアノを楽しもう(2回)、チェロのミニコンサート(1回)、チェロ教室(毎月)、楽器体験会(1回)、理科教室(6事業)、工作教室(6事業)、手形アートワークショップ(2回)、ダンボール迷路で遊ぼう(3回)、無料映画会(2回)など多世代が参加できる自主事業を多数実施した。
- ・発表会やリサイクルを予定している利用者に、リハーサル会場としてホールとピアノを特別料金で提供し、利便性の向上を図った。
- ・「みらいハッ！ケン」プロジェクトに参画し、13事業を登録。89人が電子クーポンを利用し、事業に参加した。

② 業務の効率化に対する取組み

【マルチワークの実施】

- ・両施設の館長、および職員全員が施設管理、受付業務、日常清掃、安全管理を遂行しマルチワーク化を図った。

【予防保全】

- ・本社設備員による施設定期点検(年4回)、スタッフによる巡回点検を随時実施し、小修繕や予防保全に努めた。

【リモート会議】

- ・定例会議や社内会議、研修にWeb会議システムを活用した。

【日常業務】

- ・日報や引継ぎ事項をデータで管理し、履歴確認やスタッフ間の情報共有に活用した。
- ・廊下照明器具の間引き点灯、化粧室の利用時点灯、白熱球や蛍光灯をLED電球に交換、利用のない時間の館内照明の消灯など、節電に努めた。
- ・施設点検による休館日をホームページやX(旧Twitter)を活用し、幅広く周知した。

【舞台職員の配置】

- ・舞台職員を新たに配置し、利用者との事前打合せから当日の照明まで担当し、スムーズな舞台運営に務めた。(松代文化ホール)

③ その他

【地域連携】

- ・事業告知のチラシなどを、長野市芸術館、ホクト文化ホール、若里市民文化ホール、松代地区、柳原地区の施設など多方面へ設置の依頼をした。また、相互掲示などによる連携を図った。

- ・東部文化ホール館長が柳原交流センターと旧樋口家住宅(松代町)にてチェロの演奏(アウトリーチ)を行い、地域の文化振興に貢献した。併せて、施設や自主事業の取組みなどについてPRした。

- ・両施設でチェロのコンサートを開催した際、地元の飲食店からコーヒーを購入し、お客さまに提供した。
- ・楽器体験会の参加者から、ヴァイオリンを子どもに習わせたいという親御さんへ小島地区にある音楽教室を紹介した。(東部文化ホール)
- ・松代商店会連合会(ソウさんスタンプ会)との連携を継続し、自主事業への参加を促進した。ワンコインコンサートにて、ソウさんスタンプを31人が利用した。

(松代文化ホール)

【施設の有効活用】

(松代文化ホール)

- ・ホールでのパーゼンドルファーの試弾、練習室での少人数のミニリサイクルの提案など施設を活用した自主事業を継続し好評を得た。
- ・展示ホールや練習室を活用した自主事業を開催し、施設の周知と新たな利用方法の発信に努めた。

(東部文化ホール)

- ・ホールのピアノを活用したリハーサルサービスを開始し好評を得た。
- ・館長が講師となり、利用が入っていない練習室を活用し、事前予約制のチェロのレッスンを実施した。

【修繕】

- ・修繕を多数実施し、老朽化の見られる施設の安全確保に努めた。(松代文化ホール)

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ホール利用者の再利用および新規利用の獲得について対策を検討する。
- ・それぞれの施設の良さ、特性などのPRに努め、更なる新規利用者を獲得したい。
- ・松代地区、小島地区との連携を図り、地域のニーズの把握と事業への反映に努めたい。
- ・両施設が連携し事業の展開を計画する。
- ・令和7年度より始まる、駐車場の雨水調整池整備工事に伴い、利用者の安全確保、駐車可能台数減少で想定される駐車場混雑の対応を図る。(東部文化ホール)
- ・施設の老朽化に対して計画的に修繕を提案し、所轄課と連携しながら改善に努めたい。(松代文化ホール)

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・利用者評価で両施設とも大変満足、満足あわせて97%と高い評価を得た。
- ・施設利用者 松代文化ホール16,617人。東部文化ホール31,094人。
- ・自主事業は、ワンコインコンサート、理科教室、工作教室、手形アートワークショップ、チェロのミニリサイタル、ヨガ教室など多数開催。松代文化ホールは47事業にのべ1,955人が参加。東部文化ホールは25事業にのべ740人が参加。
- ・広報の強化により、松代文化ホールは新聞での告知(151件)と事業の紹介記事(9件)やテレビ報道(2件)があり、東部文化ホールは新聞での告知(46件)と事業の紹介記事(7件)があり、両施設の認知度向上に貢献した。
- ・両施設間で連携した事業を実施することが出来た。
- ・東部文化ホールでは、リハーサルサービスやさまざまな自主事業が始まったことも評価を得た。

② 次年度以降の取組み

- ・広報ながの、こども情報紙「ホリデーながの」、CULTURE NAGANOへの掲載、信濃毎日新聞「週間ガイド」、週間長野、長野市民新聞、須坂市民新聞、モナミ(子育て情報誌)、週刊うえだへの告知依頼を継続します。
- ・信濃毎日新聞ほか、報道各社へプレスリリースの発行を継続し、取材依頼へとつながるよう取り組みます。
- ・練習室の定期利用団体が増加しているので、ホームページやSNS活用により更なる周知と利用促進により新規利用者の獲得に取り組みます。
- ・デジタルサイネージを活用し、本施設や自主事業の周知を継続します。また、利用者の催し物の広報等での利用を検討します。
- ・自主事業を市内講師に依頼し、「ヨガ教室」、「手形アートワークショップ」、「キャンドルアート」の実施を継続します。
- ・「チェロのある昼下がり」(チェロのリサイタル)を両施設で開催するにあたり、今後も近隣店舗と連携した事業を計画します。
- ・松代町内の文化施設や東部文化ホール近隣の施設でのアウトリーチにより、積極的に施設の周知活動を行います。
- ・ホームページやX(旧Twitter)、Instagramを活用した広報に力を入れていきます。